



2025
7.12 SAT ▶ 9.28 SUN
日本科学未来館 (東京・お台場)

NHK ジュニアガイド

なまえ
名前

特別展 深宇宙展

人類はどこへ向かうのか
To the Moon and Beyond

会 期 2025年7月12日(土)～9月28日(日)
開館時間 10:00～17:00 (入場は閉館の30分前まで)
休 館 日 7月15日(火)、9月2日(火)、9日(火)、16日(火)
※開館時間、休館日等とは変更になる場合がございます。
観 覧 料 大人2,200円／18歳以下(中学生以上)1,400円／小学生以下(4歳以上)700円
※3歳以下無料。
※障害者手帳、受給者証等の証明書をお持ちの方は本人および付添の方お一人まで無料。
「日本科学未来館常設展」もご覧いただけます。ドームシアターは別料金(要予約)。
※入場チケットは1枚につき1名様1回限り有効です。
※チケットご購入後のお客様都合によるキャンセル・払い戻しはできません。
※会場の混雑状況により、入場整理券の配布、または入場を規制する場合がございます。
※チケットの詳細は展覧会公式サイトでご確認ください。

会 場 日本科学未来館

主催：日本科学未来館、NHK、NHKプロモーション、東京新聞
協賛：TOPPANクレ
後援：文部科学省、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、東京臨海高速鉄道、ゆりかもめ
協力：宇宙航空研究開発機構(JAXA)、自然科学研究機構国立天文台(NAOJ)、
東京大学、理化学研究所(RIKEN)、一般社団法人SPACETIDE、
一般社団法人宇宙旅客輸送推進協議会、東急電鉄、ブリッジリンク

展覧会
公式サイト
はこちら▶



【展覧会公式サイト】
<https://deep-space.jp/>
【展覧会公式X】
@deep_space_2025



LINEアカウント
「リリア」

「深宇宙展」がNHK宇宙・未来プロジェクトとともにお届けする
スペシャルアカウントです。
展覧会や番組の最新情報も随時発信していきます。



NHK 番組情報 (予定)



大切なことは
火星がおしえてくれた
E 7月19日(土)
午後4時15分～4時58分



アニメ
「宇宙なんちゃら こてつくん」
セレクション
E 7月12日(土)
午後2時58分～3時34分
7月15日(火)～17日(木)
各日 午前1時～2時32分

NHK+で見逃し
配信があります。▶



このジュニアガイドは、特別展「深宇宙展～人類はどこへ向かうのか」の鑑賞の手引きとして小学生から中学生を対象に作成しました。
制作：NHK、NHKプロモーション、日本科学未来館 編集：NATSUHARA, LLC デザイン：技秀堂



E 毎週水曜 午後7時
NHK+でも同時・見逃し配信中!
10月からは第2シリーズを放送! ▶

©Gomdori co., Kim Jeung-Wook, Han Hyun-Dong / Mirae N / Ludens
Media / 朝日新聞出版 / NHK・NEP・東映アニメーション



深宇宙とは

地球から200万km以上離れた宇宙のことを「深宇宙」といいます。
月(38万km)よりもっと遠くにある火星や小惑星、
たくさんの星があつまった銀河なども、深宇宙にふくまれます。
人類はこれまでに探査機や望遠鏡を使って、
少しずつ深宇宙の謎をときあかそうとしています。



火星衛星探査計画(MMX)



アルマ望遠鏡

アルテミス計画とは

アルテミス計画は、アメリカを中心に月へ人を送る国際的なプロジェクトです。
約50年ぶりに人類が月に行くこの計画では、
日本人宇宙飛行士2人が月に行くことも決まっています。
月の水の調査や、将来の火星探査にもつながる、大切なミッションです。



有人月面探査車「有人与圧ローバー」

げつめん はし くるま
月面を走る車!



©NHK・dwarf

だい き ぽ

—— 私たちの頭上、数百kmから数万km、そしてその先の深宇宙へ ——

宇宙科学の探査機は、今この瞬間も宇宙を活動続けています。「深宇宙圏」では大迫力な最新最良幹線ロケット・H3ロケットの先端部（フェアリング）実物大模型や、世界初となるアルシメス計画の月面探査機「アルマでロバー」の実物大模型をはじめ、火星衛星探査計画「MMX」の地球を見守る人工衛星の数々、地上から深宇宙を観測する巨大望遠鏡「すばる望遠鏡」「ALMA望遠鏡」、日本の最新宇宙望遠鏡「XRISM」の模型と、最先端の宇宙探査・観測技術をご紹介します。

普段は種子島宇宙センターで展示されている「さかせる本物のロケット部品」や、大画面映像で体感する「H3ロケット本物上げ」「火星ツアー」「深宇宙ツアー」など、臨場感あふれるコンテンツが盛りだくさん。感動をよんだ「はやぶさ」、「はやぶさ2」が小惑星から持ち帰った本物の粒子も顕微鏡で実際にご覧いただけます。さらに特別展示として、実業家・前澤友作さんが2021年に宇宙旅行を果たした「J宇宙スズラン」(実機)の乗船体験も!

※地球から200万km以上離れた宇宙は「深宇宙」と呼ばれています。

※地球から200万km以上離れた宇宙は「深宇宙」と呼ばれています。


 しょうわくせいたんさき
 小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ 2」が
 も かえ ほんもの りゆうし
 持ち帰った本物の粒子

「はやぶさ」は、日本が作った探査機で、小惑星「イトカワ」に
 行^いっ^{ぜかい}て、世界で初^{はじ}めて小惑星^{しょうわくせい}の粒^{りゅうし}子^こを持^もっ^{かえ}て帰^{かえ}ってきまし^た。そ
 のあ^とに「はやぶさ2」が小惑星^{しょうわくせい}「リュウグウ」へ飛^とび立^たちまし^た。
 「はやぶさ2」は世界で初^{せかい}めて「水^{みず}」や「アミノ酸^{さん}」が含ま^{ふく}れ
 たサ^{りゅうし}ンプル^{りゅうし}（粒^{りゅうし}子^こ）を小惑星^{しょうわくせい}から持^もっ^{かえ}て帰^{かえ}りまし^た。どち^ちらもと^とも
 遠^{とお}く^{しょうわくせい}の小惑星^いに行^{ちきゅう}って、地^{ちきゅう}球^{もど}に戻^{しょうわくせい}ってき^{さんさき}た小惑星^{ちきゅう}探査機^もです。こ
 れらの活^{かつやく}躍^{うちゅう}によ^{ちきゅう}って、宇^{なぞ}宙^{すこ}や地^{ちきゅう}球^ものなりた^ちちについて^の謎^めが少
 ず^{あき}づつ明^{たんさき}ら^{ちきゅう}か^もな^もって^もい^もます。ふた^{かえ}つの探査機^{りゅうし}が地^{かいじゅう}球^{はんびきょう}に持^{はんびきょう}ち
 帰^{かえ}った粒^{りゅうし}子^こを、会^{かい}場^{じょう}の顕^{けん}微^び鏡^{きょう}で^のぞ^いてみ^{よう}よう!

とくべつてんじ うちゅうせん
特別展示！ソユーズ宇宙船

じつぎょうか まえがゆめうつくし ねん にほん みんかんじんしん はじ
実業家の前澤友作さんが2021年に日本の民間人として初め
て国際宇宙ステーションで12日間すごしました。このとき使われ
かえ ほんもの うちゆめうつくし こんかい てんじん み
帰ってきた本物の宇宙宇宙船が今回の展示で見られます。

◆ ^{ほんもの}さわれる本物のロケット部品がやってくる!

ふだんは種子島宇宙センターに展示されている本物のロケットの部品が、深宇宙展にやってきます!ロケットを守る「断熱材」など実際に宇宙に行くために使われている部品を手でさわることができます。大きさをざらざらした手ざわりから、宇宙へ行くロケットを感じてみてください。

展示内容、会期、開館時間、休館日については、今後の諸事情により変更する場合があります。最新情報は展覧会公式サイトをご確認ください。掲載内容は2025年5月時点の情報に基づきます。

NASA, JAXA, インターステラテクノロジス、国立天文台、ALMA (ESO/NAOJ/NRAO)、JAXA/NASA/Roscosmos、理学部研究所、
OFS 研究所、Suspective、JAXA/TOYOTA、プリネストン、東京大学、JAXA、タカオミューニシティカレッジ (株)、岡山大学、NASA/SDO、JAXA/NASA、ひびく、かつみく、はびる、きよす、イラスト、池田麻理子

サバイバルの天才 ^{てんさい} ダイヤ